過ぎないのである。

かくて婦人労働者の特殊事情は無産政党（又は婦人運動）等の闘争目標とされるべきだと観念的當為的に考察されるに止まって居る。従ってこゝに謂ふ政治闘争の経済闘争と分離的であり対立的であって全無産階級的政治闘争ではない。

(4) われ〳〵は政治と経済との関係を分離的対立的にまた折衷的に考へてはならぬ。何故なら『政治は経済の集中的表現である』からである。労働組合を以て単なる経済闘争の機関と見做すことは最も初期の組合運動については正当であったが今日に於ては而かも単純なる機関であり従って斯る見解は明かに組合主義の見地である。労働組合は所謂『社